

# 庄小・学校ボランティア

## 通学路の安全に一役

庄小(倉敷市上東)の学校ボランティアが、通学路の安全確保に一役買っている。2019年度は授業が始まる前の朝の10分間、講師となって児童に不審者対策を指導した。

同小では15年ほど前から、有志のボランティアが登下校の見守り活動を開始。現在は60〜80代の74人が登録する。19年度は県の「アサガク(朝学習)×防犯」に採択され、地元・川崎医療福祉大の学生ボランティアも加わ

### 見守り 不審者対策指導も



朝学習で不審者対策を指導する庄小の見守りボランティアら=2019年10月

った計約30人が昨年10月〜今年1月に計4回、2年生を対象に行った。

ボランティアらは、目印となるセーフティコーンを示して緊急時の避難場所「子ども110番の家」を教えたり、通学路の危険箇所をパネルで伝えたりした。また「車に乗るよう誘う人にも注意して」と呼び掛けた。

リーダーの中山康さん(72)＝同市二子＝は「全国で子どもを狙った事件が相次ぐ中、万が一の際に児童がとっさに対応できるよう、20年度も朝学習を続けたい」と意欲を見せる。

(山内悠記子)